



VOL. 122

14年 03月 04日

今月の特集

私の履歴 24

## 私の履歴 24 開業したころの思い出④

開業すると雑務もとても多くて、なかなか慣れませんでした。1年ほどしてやっと少し落ち着いてきた様に感じました。幸運にもその頃に私は東京医大の客員教授に推挙していただきました。だからというわけではありませんが、東京医大茨城医療センター代謝内分泌内科グループのカンファレンスには、開業してからも事情が許す限り参加しています。グループで担当している入院患者さんや特徴的な外来患者さんの治療方針に関する検討・最近の学会発表や論文の紹介・グループ内で行われている研究・情報交換などが行われます。今でもクリニックでの診療を終えた後に毎週水曜日の夕方、私は東京医大茨城医療センターに出向いています。

カンファレンスに出席する前に、当クリニックから入院した患者さんのベッドサイドまで伺って見舞うようにしています。患者さんに「私のパワーを入れておくね」などと話しながら握手したりして励まします。患者さんたちにパワーを注入しすぎて、カンファレンスに参加するころにはフラフラになってしまうことが多くなりました。（歳のせいかな・・・？）入院中の皆さんはやっぱ不安なのだと思います。私が励ましに行くと、とても喜んで下さいます。でも、本当は私の方こそ病気と闘う患者さんから多くを教えてもらい、力をもらっているように感じます。「先生、しっかり勉強して治してくださいよ！」と患者さんが私の背中を押して、励ましてくれていることに気づきます。最近では東京医大に出向く目的が、カンファレンスと入院中の患者さんを見舞うのと、私の心の中で同じくらいの比重になってきました。また若手の先生方とカンファレンスで一緒に勉強させてもらうことや、後輩の先生方が入院患者さんのために眠る時間を犠牲にして頑張っている姿を見るにつけて、私も若かった頃を思い出してとても刺激され、減っていたパワーが再び充填される感じがします。

私のクリニックの理念として「今この時をおいたら、もう二度と会えないかもしれない」といった“一期一会”の心で患者さんを診療するように心掛けることを掲げています。（←あくまで目標です・・・）実際、「今日も笑顔で優しく、根気強く」と毎朝誓って家からクリニックに向かうのですが、つい患者さんにイライラしたり怒ったりして、クリニックから帰る時には一人でションボリして反省しています。まだまだ修行が足りませんね。ごめんなさい。

「糖尿病に関してなるべく専門的で、かつわかりやすい治療」をすることが当院のキャッチフレーズです。大それたことはできませんが、せっかく縁あってこの地に開業させていただいたので、できる範囲で「なるべく近隣住民の方のためにもお役に立ちたい」と考えています。（次号へ続く）



## 千年前の貴族社会と現代社会 ～藤原道長と糖尿病～ 療養指導士 細谷陽子

寒い冬も過ぎ、だんだんと春の風を感じる季節になってきました。今回は日本人の糖尿病のルーツを探ってみるため、何かないかと探していたら日本糖尿病協会の雑誌「さかえ」に面白い記事が掲載されていたので、紹介させていただきます。

我が国で最古の糖尿病患者として文献に残っているのは藤原道長です。道長は娘たちを天皇に嫁がせ、摂政として権威をふるった超有名な歴史上の人物ですよネ。でも政権の座に就いて以来、たびたび大病を患っていたようです。道長自身の日記「御堂関白」や「小右記」には彼が糖尿病および合併症に悩まされる姿が綴られています。

平安時代の貴族社会において用意周到な熟慮と十分な議論が求められた政務は、たびたび深夜に及ぶ事もあり、円滑な遂行や良好な人間関係を築くために酒の席が欠かせなかったと記されています。精神的・肉体的疲労と大酒、美食に加え、移動に牛車と馬車を使用して運動不足を招いていたようです。現代のお父さん方とどこか似かよっているような…。

道長は50歳の時に口渴・多飲を訴え、51歳で神経障害、翌年には重篤な視力障害を訴え、感染症がもとで敗血症を起こし61歳で亡くなったと言われています。（調べて見ました…諸説ありますが、平安貴族の平均寿命は約60歳、一般庶民は約30歳とのことです）また、藤原道長の一族は道長の兄道隆は42歳、甥の伊周は36歳で亡くなっていますが、生前多飲を訴えていることから糖尿病の遺伝的要素が背景にあったと推察されているそうです。

道長の現代社会に通じる日常生活は、糖尿病発症と合併症の恐ろしさを、現代に生きる私達に発信しているのではないかと考えさせられました…。

あなたも道長と同じ轍を踏まないように、明日から牛車をやめて歩いてみませんか！

## 休診のお知らせ

3月から5月の診療予定です。休診日に来院されないように気をつけて下さい

	S	M	T	W	T	F	S
3月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
4月	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
5月	S	M	T	W	T	F	S
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	*21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

\* 21日は午前中のみ診療となります。